

# 授業科目 車いす・シーティング実習

【担当教員名】 東江 由起夫、前田 雄、高橋 良明		対象学年	3	対象学科	義肢
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：GI0】 車いす・シーティングの製作適合に必要な基本的な技術を体得するために、対象者の姿勢の評価方法、採寸・採型方法、製作方法適合方法について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を理解している。</li> <li>2. 正しい姿勢を評価することができる。</li> <li>3. 車いす・シーティングの処方及び製作に必要な情報、評価方法を実践し、カルテへの記入ができる。</li> <li>4. 採寸および採型をすることができる。</li> <li>5. 車いす・シーティングの部品の機能を理解し、適切に扱うことができる。</li> <li>6. 姿勢・座位の評価をし、ピースで採型ができる。</li> <li>7. 車いす・シーティングを適切に使用、評価とアライメントの評価が実践できる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	ガイダンス			説明	
2	健全者の基本姿勢と評価		2	実習	
3	座位姿勢の評価・実習		2,7	実習	
4	車いす・シーティングの座圧評価実習		2,7	実習	
5	クッションによる姿勢変化と評価		2,7	実習	
6	マット評価・実習		2,3,4	実習	
7	ピース採型・実習・評価実習		1～7	実習	
8	各部のポジショニング・まとめ		1～7	実習	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		小児から高齢者までの姿勢保持 工学的視点を臨床に活かす	編集 日本リハビリテーション工学協会、SIG 姿勢保持	医学書院	2007・4,700円＋税
参考書		からだにやさしい車いす 車椅子のすすめ 車椅子ハンドブック	著 Bengt Engstrom、訳 橋正樹、中村勝代	高 三輪書店	1997・2,718円＋税
		車いす・シーティング - その理論と実践 -	編集 車いす姿勢保持協会	はる書房	2011・5,000円＋税
その他の資料					
【評価方法】 実習レポート80%、態度20%とする。 ※原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点、遅刻2回につき-5点を、最終評価から減点する。		【履修上の留意点】 本科目「車いす・シーティング(実習)」は「車いす・シーティング(講義)」とあわせて行われるため、両科目の相互理解が重要である。			